

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第16回 西脇市子ども・子育て会議
開催日時	平成31年2月28日（木） 午後1時30分から3時まで
開催場所	西脇市民会館 第1会議室
出席委員の 氏名又は人数	17名
欠席委員の 氏名又は人数	0名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局8名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 子育て支援に関するニーズ調査結果について 2 教育・保育提供区域の設定について 3 平成31年度市内認定こども園・市立幼稚園 等申請状況
会議の記録（概要）	
発言者	<p>議事1 子育て支援に関するニーズ調査結果について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>（【資料1】に基づき説明）</p> <p>（【資料1-2、1-3】に基づき説明）</p> <p>ただいまの説明に対して、ご質問、確認したいこと等ありますでしょうか。</p> <p>このアンケートを回答された方はわかるのでしょうか</p>
会長	
事務局	
コンサルタント	
会長	
委員	

	か。
コンサルタント	はい、わかりません。無記名となっています。
委員	そうですか。気になったのは、1年間に保護者の用事により、子どもが泊りがけで見てもらったことがあるかという設問ですが、あったというところで、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」というところが気になります。アンケートは名前を書かずに出すものだと思いますが、どのような状態だったのかが気になります。アンケートの後ろに、困ったときの相談先などの情報が載せてあったら良かったのではないかと思います。
コンサルタント	「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」その日数を見ると、1日、3日、10～19日という結果があります。このあたりの方は、特定はできませんが、問13-1で非常に困難だったと回答されたり、相談相手がいないという回答しているかもしれません。そのような方が、どのような状況でアンケートを答えたのか、誰かを特定するわけではなく、このような人がいたということの分析を深めていくことはできると思います。
会長	他に意見はありますか。
委員	113ページの病児保育で、「利用したいと思わない」の割合が高かったですが、大体このような数値なのでしょう。
コンサルタント	「利用したいと思わない」の割合が78.9%となっています。113ページは小学生の保護者の回答となっています。これが、小学校入学前は44ページ、「利用したいと思わない」の割合が54.5%と若干低くなっています。 小学校に上がってからはニーズが低くなってきている回答結果だと思います。他市町村と比較してどうかというところは、大きく違いがあるというものではないと思います。
会長	未就学は4割くらいが利用希望ですね。他に意見は

	<p>ありますか。</p>
委員	<p>44、45ページで、「利用したいと思わない」が50%となっている。私が知っている病児保育を実施している施設では、この事業を始めて10年くらいになると思うが、病児保育が浸透していないのではないのでしょうか。45ページでは、「できれば仕事を休んでも看たい」というのは、いいことだと思うが、制度との狭間があると思います。</p>
事務局	<p>市内では西脇こども園で病児保育を行っており、定員が2名で少ないということはありませんが、利用はしていただいております。実際の数値が手元にありませんがかなりの方にご利用いただいていると認識しています。</p>
委員	<p>他のこども園で事業を受けるところまでは思っていないでしょうか。西脇こども園だけでしょうか。他でも病後児を預かっていこうというところはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>西脇こども園では、在園の子どもだけではなく、他の園に通う子どもも受け入れていただいております。他の園ではそういった体制はありません。</p>
会長	<p>他に意見はありますか。</p>
委員	<p>病児保育の関連ですが、このデータ上はお子さんの年齢は分からないので、0歳は仕事を休んでも家で看たいと思われる傾向があるのかと思いますが、0歳でも仕事を休めないならお預けになるのかなと。</p> <p>どれくらい広報するのか、保護者の情報網では相当いっているのでしょうか。学童とかも自主事業で受け入れてはいるものの、盛大に広報を行っていないのですが、振り返ると、どこそこの園の子どもは多いが、どこそこの園の子どもは少ないということがあると思いますので、各園の広報の仕方はあると思います。</p> <p>それと、先ほどの報告で気になったのですが、貧困家庭が出てきたのと、128ページの結果と同じ人では</p>

	<p>ないかという説明がありましたが、データに基づいて感じているのか、決めつけての説明なのか、聞いている方も、誘導をされる説明でした。</p> <p>裏付けをとって、1割の人が、家族との絆が結べなかったのか別の人ののか、しっかりデータを読み込んだのものなのか、決めつけなのか気がなります。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>十分な説明ができていませんでした。今後、年収の関係も含めて、さらに分析を深めて、その辺を次回の会議で、課題等の分析がありますので、現状を提示致します。</p>
<p>会長</p>	<p>少子高齢化社会の対応の問題がありますが、このアンケートから改善されるようなことが導けるものとなっているのでしょうか。</p> <p>アンケートで分かればと思いますが、分からなければ結構です。他に質問等ないようですので、次に移ります。</p> <p>議事2 教育・保育提供区域の設定について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>(【資料2】に基づき説明)</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から説明)</p>
<p>会長</p>	<p>事務局から説明ありましたが、ご質問はありますでしょうか。メリット、デメリットについて、もう少し詳しく説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、調整についても、市全域で行っています。その中で、西地区、東地区という形での提供区域の設定をすると、実情にあわないところが出てきます。例えば、西地区にお住まいの方が、東地区の施設を利用している現状があります。需要と供給の問題で、西と東で分けてしまうと、その中で、利用状況を考察していかないといけません、それが実態に沿っていません。この全体の話は第1期でもいただいている意見ですので、市全域で設定したいと考えています。</p>

会長	西の人が東に行っているというのは、本人の意向で行っているのでしょうか。
事務局	本人の意向もありますし、利用調整のところもあります。定員がいっぱいで、第1希望に行けなかった場合に、第2希望に調整させていただく場合もあります。
会長	実態に合わせて変更をするということですね。
委員	5年前も発言をさせていただきましたが、実態として、市内全域でということを出言させていただきましたが、県の指導ということで仕方がなく、2地区でということだと思えます。5年前は地区の近くの事業所に預けたり、バスが近くに止まってくれるということですので、西脇こども園の話をする、西脇地区は4割くらいで、その他は他の地区から来ていますので、分ける意味は、ほぼないと思えます。
会長	<p>他よろしいでしょうか。ないようですので、教育保育の提供区域について、事務局の提案について賛成の方は挙手ください。（全員挙手）ありがとうございました。</p> <p>では次に、議事3平成31年度市内認定こども園・市立幼稚園等申請状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	（【資料3】に基づき説明）
会長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問はありますでしょうか。</p> <p>申込者が1,161件とありましたが、本来この年代の総人数はわかりますか。</p>
事務局	0歳児については、見込みとしてカウントしています。0～5歳、平成31年度4月の状況で申しますと、1,753となる見込みです。見込みですが、0歳児が243、1歳児270、2歳児299、3歳323、4歳293、5歳325になります。

委員	この10月から3～5歳の保育料が無料になりますので、3～5歳のニーズは、市内で家庭保育を行う方はほぼないのではないかと思います。支給認定で今の数値と差が出ます。この方たちが申し込むようになって、今年は増えると思います。
事務局	利用定数自体は、先ほどの定員のところに記載されています。施設の体制もあり、保育士やキャパによりますが、体制が可能であれば、弾力的に各園と調整をさせていただくつもりです。
会長	他に質問などありますか。
委員	こども園の定員からだいたい1割増でしょうか。
事務局	実際には弾力化で2割増までとっていますが、それが継続するのは良くないとされています。
委員	最低基準の面積をクリアしないといけないところがあり、西脇こども園の例を出させてもらおうと、利用定数は227人ですが、面積からすると280人になります。 280人まで受け入れられるが、職員・保育士がいなので、227人となっています。
会長	その他にありますか。なければ次、議事4その他事務局からありますか。
事務局	(幼児教育の無償化について説明)
委員	無償化に伴い、3～5歳児でどこにも行っていない子どもたちは、どこかに行くのでしょうか。
事務局	実際に、認定こども園に入園している方は、保育が必要である支給認定があります。
委員	どこの園にも行っていない子どもがいると思います。その子どもがどうなるのかということと、ここに

	<p>出ていない無認可などの保育園もあると思いますが、そういったところのキャパシティはどれくらいありますか。</p>
事務局	<p>ひよこ保育園は60、オザワも2箇所有り、上野の方は12、小坂の方は19、あとは大山病院の企業主導型のさくら保育もあります。いまその数値がはっきり申し上げられませんが。</p>
委員	<p>認定保育園などは、自分たちで調べていくと思うが、行かれていない方は、そのような情報が少なく、どうなのか。均等に教育するのであれば、考えないといけないと思います。どこでわかるのでしょうか。認識がない方もいると思います。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。そういうことも含め今後広報・周知に努めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>自由意見で、幼稚園をなくさないで欲しいという意見がありますが、この声は無視することになるのでしょうか。考える余地はないのか。</p>
事務局	<p>しばぎくら幼稚園については、幼保一元化の過程の一つとして存続しています。方針の中で、34年度末をもって、閉園に向けて調整を進めています。</p>
委員	<p>今の幼稚園を残していこうと再考するという事はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>アンケートでもご意見を頂いており、保護者からも声を聴いており、いろんなところからの意見を聴かせていただき、参考にしながら、どのようにしていけば良いかを調整していきながら、今の段階では34年度末に閉園という調整を進めています。</p>
会長	<p>方向としては閉園に向けて調整しながらということですが、ソフトランディングして頂ければと思います。</p>

事務局	<p>存続を希望されている方もいると思いますが、一つの意見として、市内の幼児教育の状況について不安を持っている状況もある中での意見だと思います。西脇市についても就学前教育保育の充実を目指しています。3月の議会でも、就学前教育保育の質の向上推進委員会を立ち上げる条例を提案しています。その中で、市において、28年に就学前教育保育カリキュラムを策定し、それに基づく、教育保育の提供が行われているところですが、実践について、それぞれの幼稚園、こども園の取り組みの現状を踏まえ、課題を明らかにして、就学前教育保育の質を向上させ、そのような不安を払拭するという形で進めていきたいということが委員会の立ち上げの経緯です。</p>
会長	<p>しばぎくら幼稚園を残す可能性も0ではないということですね。</p>
事務局	<p>就学前教育保育の質の向上推進委員会を立ち上げまして、31年度から、各こども園をまわり、確認をしながら、課題が見えてくる場合もあると思いますので、課題を解決して、いまの予定では34年度末に閉園を計画しています。</p>
会長	<p>就学前教育保育の質の向上推進委員会の中で、場合によっては、それも視野に置いて検討するのかどうかをお聞きしたいのですが。</p>
事務局	<p>認定こども園化に向けて、努力しているところでございます。</p>
委員	<p>私も以前の幼稚園が閉園になる時に、園長をしていましたが、その時に入ってきた子どもと、今年度併設の幼稚園、こども園から入ってきている子どもとでは、ある程度のギャップは小学校に入ってきた時に感じます。幼稚園との連携が以前はうまくいっていましたが、認定こども園になってからは連携が取りにくい部分もあり、小学校の入学の時に、マイナスを感じる場所があります。経済的・政治的などところはありますが。</p>

委員	<p>あまり極端なことを言うと、認定こども園をみんな公立にしてくれということになる。認定こども園を否定しているように聞こえます。明らかに差があるわけで幼保の連携が出来てないということですから。</p>
委員	<p>差があると言ったのは教育的な部分ではなく、これまでは幼稚園に通う頃からずっと歩いてきていたのが、幼稚園が閉園されて急に小学校に上がったときから歩いてくるのでは、4月の段階で子ども達の疲れ方も違いますし、体力的な違いもあります。</p> <p>また、以前の幼稚園のように併設であれば、毎日見ることができ、どんな子どもたちか理解ができていたのが、事前に知ることができないのが、大きなところだと思っています。何回か無理を言って、こども園を見に行って連携をしていますが、以前は隣接していた分毎日見れていたのが、見れないということが受け入れ側の不安として大きいと思います。</p>
委員	<p>西脇小学校に入学するのは、西脇こども園もあり、つまこども園、どれみこども園、ひよこ保育園の子どもたちもいます。なので、今言われたことはシステムの問題があると思います。幼稚園を残すのか、残さないのかの論点とは違う気がします。</p>
委員	<p>教育については幼稚園のいいところをとっていると思います。</p>
会長	<p>しばぎくら幼稚園を閉園する場合、145名の定員はどのような形で調整をされるのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的には、市内であれば認定こども園で受け入れとなります。</p>
会長	<p>均等に振り分けられるのでしょうか。</p>
事務局	<p>いまの流れで行くと、地域のこども園に行かれます。その中で、利用調整が出てくるかもしれませんが、34年度になれば、資料を見ていただいで分かるよ</p>

	<p>うに現在の西脇市では250名を切ってくると思いますので、定数増にはならないと考えます。</p> <p>5歳児で30名弱就園されていないという説明に聞こえたかと思いますが、市内の認定こども園の集計となるため、認可外に行かれているとカウントされていません。その数値を持っていないので、3～5歳の入園される数値の差がわかりません。半分以下くらいにはなると思います。</p>
会長	<p>言いたいのは、待機児童がないように調整をして欲しいということです。</p>
委員	<p>私はやっぱり幼稚園が好きなので、幼稚園を残して欲しいという親の要望も強いと思います。方向性としてはなくされるのかもしれないですが、可能性を0にはせずに、幼稚園教育というものに対する親の考えも大事にして頂ければと思います。</p> <p>私も家庭保育をして、幼稚園に行かせてもらい、小学校につなげました。そのように育てたい親もあるということも意見として出ているので、最後まで0にならないようにして頂ければいいと思います。</p>
会長	<p>いろいろな意見はありますが、こども園でも幼稚園教育が行われているわけですね。</p>
委員	<p>確認ですが、しばぎくら幼稚園は3歳児が33年度から募集がなくなり、34年度には0になるのですね。しばぎくら幼稚園が閉園になるのは条例か何かで決められてあるのですね。そこを変えるのであれば管理が変わってくると思いました。</p>
事務局	<p>26年度に、子ども子育て会議でこのような決定をしていただき、進んでいますので、いまの段階では、この方向に向けて最善を尽くしていきたいと思います。</p>
委員	<p>少し話が変わるのですが、できるだけ各園に、地域で子どもが育ってほしいと思います。途中から入園する子どもが増えていますが、3歳児の受け入れということがあります、地域外から途中の入園という形で入って</p>

	<p>くるのですが、受け入れ人数がいっぱいであったり、定員がいっぱいであったりで、遠くまで送っておられていることがあるので、行きたいところに行ける状況が保護者、子どもにもあって、地域の中で育つのも大事だと思いますのでそういったことも考えていただければ。</p>
委員	<p>先ほど委員の意見にあったように、地域で子どもを育てるということは幼児教育の質を担保することによって、どこで保育の利用をするのか差がなくなってくるのではないかと思います。利用される保護者が西脇で保育を受けたら、それぞれの施設の特徴があるにせよ、西脇で保育を受けたら間違いのないと思えるような、質の確保をしていくことが大前提なのではないかと思います。</p>
会長	<p>それでは、事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>(今後のスケジュールについて説明) (西脇市子ども条例について説明)</p>
会長	<p>パブコメの予定は。</p>
事務局	<p>6月頃の予定です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。以上を持って、本日の会議を終了いたします。</p>
問合せ先	<p>西脇市福祉部こども福祉課 電話：0795-22-3111（代）</p>